

柏市次世代育成支援後期行動計画

進行管理票

(平成 2 5 年度実績)

- 重点 1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援・・・No. 1 ～ 7
- 重点 2 保育環境の整備と待機児童の解消・・・・・・・・・・No. 8 ～ 1 7
- 重点 3 配慮が必要な児童・保護者への支援・・・・・・・・・・No. 1 8 ～ 2 9
- 重点 4 子どもの安全の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 3 0 ～ 3 6
- 重点 5 市民との協働による計画推進と情報提供・・・・・・No. 3 7 ～ 4 1

※進行管理票は、柏市次世代育成支援後期行動計画における目標事業量
対象事業（本計画 P 9 2 ～ 9 6）を掲載しております。

目標事業量対象事業一覧

重点プロジェクト	No.	事業名	担当課
重点1 子どもの居場所づくりと 子どもの成長支援	1	児童センター運営事業	子育て支援課（児童センター）
	2	児童センターの整備事業	子育て支援課（児童育成課）
	3	地域子育て支援センター事業	保育運営課（保育課）
	4	子育て広場事業	子育て支援課（児童センター）
	5	子育てサロンの拡充	柏市社会福祉協議会
	6	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
	7	青少年の居場所づくり事業	子育て支援課（児童センター）
重点2 保育環境の整備と 待機児童の解消	8	通常保育事業・延長保育事業	保育運営課（保育課）
	9	駅前認証保育施設事業	保育運営課（保育課）
	10	預かり保育事業（幼稚園）	保育運営課（児童育成課）
	11	一時保育の充実	保育運営課（保育課）
	12	休日保育事業	保育運営課（保育課）
	13	乳幼児健康支援一時預かり口病児・病後児保育	保育運営課（保育課）
	14	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課（児童育成課）
	15	保育施設の指導監査	法人指導課（指導監査室）
	15	保育施設の指導監査	保育運営課（保育課）
	16	子育て短期支援事業（ショートステイ・田ワイライトステイ）	こども福祉課（児童育成課）
	17	こどもルーム（学童保育）の全小学校区整備	学童保育課（こどもルーム担当室）
重点3 配慮が必要な 児童・保護者への支援	18	子育てワークショップの実施	子育て支援課（児童センター）
	19	ひとり親等就業資格等取得助成	こども福祉課（児童育成課）
	20	母子家庭自立支援プログラム策定事業	こども福祉課（児童育成課）
	21	こども発達センターの開設	こども発達センター
	22	のびのび相談（乳幼児専門相談）	地域健康づくり課
	23	発達支援相談	地域健康づくり課
	24	発達（継続）相談	こども発達センター
	25	親子教室（かんがるー広場）	地域健康づくり課
	26	1歳6か月児健康診査事後指導口ひよこルーム	地域健康づくり課
	27	地域療育支援	こども発達センター
	27	地域療育支援	保育運営課（保育課）
	28	日中一時支援事業	障害者相談支援室（障害福祉課）
	29	日本語指導者派遣事業	指導課
重点4 子どもの安全の確保	30	登下校の安全対策（スクールガード）	学校企画室
	31	安全安心まちづくり推進事業（エンジョイ・パトロール）	防災安全課
	32	犯罪防止を考慮した公園の設計管理	公園管理課
	33	交通安全教室の実施	交通施設課
	34	補導活動事業	少年補導センター
	35	情報収集活動口プロフや裏サイトのチェック活動	少年補導センター
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開＜子育てセミナー開催＞	地域支援課
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開＜母と子のつどい＞	地域健康づくり課
	36	家庭内の事故を未然に防ぐための啓発活動の展開＜子育て広場事業（再掲）＞	子育て支援課（児童センター）
重点5 市民との協働による 計画推進と情報提供	37	子育てに優しいまちづくりワークショップ	子育て支援課（児童育成課）
	38	庁内関係各課による計画の進行管理	子育て支援課（こども政策室）
	39	審議会による計画の進行管理	子育て支援課（こども政策室）
	40	市民提案を受け止め支援する体制整備	子育て支援課（こども政策室）
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供＜子育て情報誌（かしわこそだてハンドブック）による情報提供＞	子育て支援課（児童育成課）
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供＜「マッブルブル」等の発行＞	地域健康づくり課
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供＜子育てサポートかしわの発行＞	保育運営課（保育課）
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供＜柏市子育てサイトによる情報提供＞	子育て支援課（児童育成課）
	41	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供＜こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）＞	地域健康づくり課

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	児童センター運営事業	掲載ページ	26
		担当課	子育て支援課(児童センター)
		No.	1
事業内容	児童センターの活動を充実し、遊び場の提供、各種体験活動、保護者向け子育て講演会、子育て相談活動、ボランティア育成活動など幅広く、子育て、子育てを支援していきます。また、地域住民を交えた運営委員会を組織し、子どもフェスタ、児童センターまつり、ミュージカル事業などを通じて、市民との協働を進めていきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	
		公共施設等を有効に活用した子どもの居場所づくり	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	113,000人	145,000人	年間利用人数
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	子育て中の保護者に対しての様々な子育て支援事業、子どもの発達年齢に見合った事業を実施した。年間利用人数(事業参加者を含む)は110,007人、事業は7センターで1,235事業、延べ24,350名の参加者があった。昨年度と比較して、年間利用人数が減少したが、これは地域子育て支援センターの充実が考えられる。また、運営委員会や地域のかた、健全育成団体、青少年ボランティアなどの協働で事業を実施した。定着した団体や地域との連携を深められたらよい。		
担当課 自己評価	4	乳幼児親子対象の事業に関しては充実しているが、青少年対象の事業がまだ不十分である	
市民との協働	有	運営委員、実行委員、社会福祉協議会、青少年協議会他、市民との協働を実施している	
市民アンケート・意見の聴取	有	事業を実施するたびに関わって下さったかたにアンケートをとり、次年度に反映できるようにしている	
関係部署との連携	有	地域健康づくり課、廃棄物政策課との連携事業	
障害者・外国人等への配慮	有	障害をもつ子どもが参加できるように事業を企画、実施している	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	あそぶ、つくる、宿泊、表現、おはなし会、学ぶ、防災体験、ボランティア体験などの事業を、地域の子どもの健全育成と子育て支援の拠点として、親子、子どもたちに企画、実施する。 乳幼児親子の支援の場、就学後の児童・生徒の健全育成について、検討していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	児童センターの整備事業	掲載ページ	27
		担当課	子育て支援課(児童育成課)
		No.	2
事業内容	児童センター事業の充実を図るため、地域子育て支援の拠点となる児童センターを3つのゾーン(北部・中央・南部)ごとに整備していきます。 中央ゾーンの拠点として整備した「しこだ児童センター」に続き、南部ゾーンにも児童センターを整備していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	新設1か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	これまでの児童センター(児童(18歳未満の者)に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする屋内の児童厚生施設)のあり方について、①乳幼児(就学前の児童)及びその保護者を対象とした地域子育て支援拠点としての機能と、②就学後の児童・生徒の居場所としての機能に分けて検討を行った。		
担当課 自己評価	1	実施しない	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	—		
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	引き続き、子ども・子育て支援新制度への移行、地域における既存の社会資源の活用、国の補助金の活用を念頭に、就学後の児童・生徒の居場所のあり方を含めた市全体の子育て支援のあり方を検討していく。児童センターの整備については、今後基本的に「なし」。①の機能は、市全体の地域子育て支援の統括的な役割を検討。②の機能は、放課後の学童の居場所として、放課後子ども教室、こどもルームと併せて、検討。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域子育て支援センター事業	掲載ページ	16
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	3
事業内容	保育園等において、保育士による子育て相談、子育てサークル等への支援、情報提供、育児講座の実施などにより子育て家庭への支援を行います。今後は、施設内だけではなく、地域の公園や公共施設などに出向いていく出前型の支援も行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育施設による地域支援機能の充実強化	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
7か所	9か所	18か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・公立の支援センターの利用申し込み方法について、従来のハガキでの申し込みの他に、4月は利用時にその場で申し込みを可能にし、利用者に負担のない申し込み方法へ改善した。 ・公立の支援センターとふれあい事業「わいわい」が合同で企画し、モラージュを利用して出前保育を行い、より多くの地域の親子への周知に繋げた。 ・各支援センターの利用状況に加え、収支状況についても、より詳細な報告を求めた。		
担当課 自己評価	4	現在19か所で開設しており、後期計画最終年度の目標であった18か所の開設を上回ることができた。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	有	行事や新しい取り組みの後などにアンケートをとり、一方通行の支援にならないように意見を参考にした。	
関係部署との連携	有	情報誌「広報かしわ」・「マッフルブル」及び、柏市子育て支援サイト「はぐはぐ柏」への情報掲載依頼をしてPRを行った。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者・外国人でも楽しめるよう、その場に応じてサポートをしている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・各支援センターの定期的な視察及び、指導 ・支援センター間の連携や情報交換の機会の設置 ・担当職員の研修参加の実施		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て広場事業	掲載ページ	20
		担当課	子育て支援課(児童センター)
		No.	4
事業内容	乳幼児親子が気軽につどい、自由な雰囲気での交流ができるよう、仲間づくりや情報交換のできる「子育て広場」を開催していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(3)子育てについて学ぶ場の提供	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	4 子どもの安全の確保(P86・87)
	取り組み	児童センターの新設と各児童センターの有効活用	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動
		公共施設等を有効に活用した子どもの居場所づくり	家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	6か所	10か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・児童センターで地域子育て支援拠点事業のひろば型(3カ所)や子育て広場(4カ所)を実施。年間利用数延べ9,911人。年間利用数は、昨年度と比較して減少したが、これは地域子育て支援センターの充実が考えられる。 ・西原子育てサロン(西原小学校こどもルーム内)年間利用数延べ863人、合計10,774人 ・地域子育て支援センターなどとの連携や、子育て相談に対応できる人材の配置や専門機関との連携が課題である。		
担当課 自己評価	4	市内で実施している他の子育てサロンなどとの情報交換やつながりがもてると柏市全体の支援がより向上できると思う。	
市民との協働	有	主任児童委員と毎月事業を実施している。	
市民アンケート・意見の聴取	無	今後実施したい。	
関係部署との連携	無	今後実施したい。	
障害者・外国人等への配慮	有	希望があれば参加は可能	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	各児童センターと西原小学校こどもルームで実施。地域子育て支援センターなど既存の社会資源と連携して、乳幼児親子の支援のあり方を検討していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てサロンの拡充	掲載ページ	24
		担当課	柏市社会福祉協議会
		No.	5
事業内容	子育てボランティアなどにより市民主体で運営されている子育てサロンを拡充していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐくむ支援	
	中番号	ア 交流の場を通じた子育て支援	
	小番号	⑧	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	世代間交流など地域ぐるみによる子どもの成長支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	各地区社会福祉協議会に1か所
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成25年度は市内17地区25カ所で実施。また子育てサロン従事者に対して会議、研修会を年3回開催した(24年度は1回)。さらに子育てサロン周知のため、子育てサロンハンドブックを作成した。 今後も子育て事業の質の確保のため、研修を定期的に開催していく。		
担当課 自己評価	5	子育てサロン間のネットワーク強化	
市民との協働	有	住民主体の活動であり、民生委員、主任児童委員、柏市民健康づくり推進員等を中心に実施。立ち上げ、運営の支援を市社協で行っている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	地区担当職員を配置し活動者の相談・支援を行った。	
関係部署との連携	有	保健所地域健康づくり課保健師の支援、児童育成課との連携(こどもルームの活用)。	
障害者・外国人等への配慮	有	各子育てサロンでは幅広く参加者を受け入れている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	前年度同様子育てサロンへの様々な支援(情報提供、研修会の開催、新規立ち上げ支援等)。また研修会を通じて、子育てサロン関係者の質の向上を図る。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	放課後子ども教室推進事業	掲載ページ	26
		担当課	生涯学習課
		No.	6
事業内容	市内小学校の児童を対象として、余裕教室や学校施設の開放等を行い、地域との連携による学習機会の提供や人材の活用を進め、勉強やスポーツ、文化活動を通じて児童に安全で安心な居場所を提供します。また、人材育成、実施場所の確保などにより、事業を拡充します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	放課後子ども教室事業の拡充	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
3か所以上	10か所	21か所	毎年2か所設置
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・平成25年度は、市内小学校17校及び青少年センターにおいて実施した。平日の補充学習(ステップアップ)を16小学校で、土曜日の体験講座を9小学校、夏休み放課後子ども教室を青少年センターにおいて開催した。地域の方々にコーディネーター・アドバイザー・安全管理員としてご協力をいただいた。 ・年間の延べ参加者数は9,414人であった。事業仕分け等の結果も踏まえ、平日の補充学習(ステップアップ)を充実し、土曜の体験講座を見直したため。 ・平日の補充学習(ステップアップ)を「学びの場」として定着させ、学校教育部と連携を強めていく。 ・有償ボランティアとして活動して下さる地域住民の発掘及び研修が大きな課題である。		
担当課 自己評価	3	内容の充実ができ、学校・保護者から好評を得た。	
市民との協働	有	アドバイザーや安全管理員は実施校の近隣の住民の方が行なっている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	アドバイザーや放課後子ども教室参加者の保護者に対するアンケート調査を実施している。	
関係部署との連携	有	こどもルーム担当室と連携し、ステップアップ終了後のこどもルーム入所児童の安全確保の体制を整えている。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人の対象者が希望がある場合も受け入れ協議。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・コーディネーターを非常勤特別職化し、5名のコーディネーターで開始する。 ・平日の補充学習(ステップアップ)の開催校を新規に3校開設し、19校で開始する。 ・学びづくりフロンティアプロジェクトによる平日の補充学習(ステップアップ)の取り組みをモデルとして他校に紹介したり、学校教育部と連携した人材発掘や研修を実施することで、学校や保護者のニーズに合わせた事業展開を図る。 ・青少年センターを利用して、夏休みや春休み放課後子ども教室を開催する予定。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	青少年の居場所づくり事業	掲載ページ	28
		担当課	子育て支援課(児童センター)
		No.	7
事業内容	中高生などが、学校や部活動以外の居場所で、気軽につどい仲間づくりをする場所を提供するとともに、大人や異年齢集団との交流を通じて、青少年の健全育成を図ります。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(5)地域のなかで子どもが育つ環境の整備(居場所づくり)	
	中番号		
	小番号	⑩	
重点プロジェクト	番号	1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援(P80・81)	
	取り組み	青少年の居場所づくり	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	1か所	3か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・豊四季台児童センターで実施している「中学生しゃべり場」は49回実施し、171人が参加 ・豊四季台児童センターで実施している「じどセンなう」は7回実施し、34人が参加 ・しこだ児童センターで実施している「あさっての会」は50回実施し、178人が参加 ・中高生対象のボランティア講座・体験は8回実施し、45人が参加 ・中高生が相談、遊びたいような青年スタッフの人材確保が難しく、実施回数の減少が年々続いている。 ※参加人数は延べ人数		
担当課 自己評価	3	市民との協働がむずかしく、増尾勉強会との協力事業は25年度限りとなってしまった。	
市民との協働	有	青年スタッフの会、増尾勉強会と協働している。	
市民アンケート・意見の聴取	有	実施にあたり、数回にわたり打合せや、意見交換を行っている。	
関係部署との連携	無	児童育成課のみの実施であった。	
障害者・外国人等への配慮	有	学校・機関だけでなく夜間中学校などにもちらしを配布。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・豊四季台児童センターでの中高生の居場所「中学生しゃべりば」「じどセンなう」、しこだ児童センターの「ほっとる一む」「あさっての会」を引き続き青少年の居場所として実施していく。 ・新たな自分の発見につなげられるようボランティア活動の講座や事業を展開していき、児童センターが心地良い居場所になるようにする。 ・青少年の居場所に関する積極的なPR活動を推進する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	通常保育事業・延長保育事業	掲載ページ	33
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	8
事業内容	保育ニーズの高まりに対応し、質・量の両面で保育事業の充実を図ります。待機児童の解消を図るため、民間活力等を活用しながら保育園入所定員の増加を目指します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育園の増設(民間保育園の開所・運営支援)	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
31か所	33か所	41か所	認可保育園毎年1園程度新設 待機児童0人を最終目標とする
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成26年4月開設を目指し、私立保育園5園を新設及び駅前認証保育施設を2園認可化し、定員を363人増加することができた。 その結果、保育需要が増加し、平成26年4月1日現在の待機児童数は39人となっており、待機児童のための施策が必要。 延長保育事業に関しては、公立・私立認可保育園すべてで実施。うち5園で20時まで延長しており多様な保育需要に応えている。		
担当課 自己評価	4	新規開設及び弾力化実施により受入人数の増加を行った。 延長保育は、公立・私立認可保育園すべてで実施すると共に、私立園に対し長時間延長も働きかけ実施園を増やすことができた。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有	障害の有無・国籍等を問わず受け入れを原則としている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	通常保育は、公立23園・私立28園(分園含む)、計51園で保育を実施。定員4,983名。 待機児童解消を目指し、新たに私立5園の新設と認可外保育施設の認可化を進め平成27年4月開設をめざす。 延長保育事業に関しては、公立・私立認可保育園すべてで実施を継続する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	駅前認証保育施設事業	掲載ページ	34
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	9
事業内容	都心方面へ通勤している就労者が多いという柏市の就労形態を考慮して、保育園待機児童解消と就労支援の一環として、柏市内の鉄道の駅改札口から半径300m以内の認可外施設のうち、市の基準を満たした施設を認証し、運営費等の一部を支援します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑨	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	市独自の駅前認証保育の拡充(各駅に1か所ずつ配置できるように誘致)認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	4か所	6か所	市内各駅周辺に1か所を目指す
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	昨年度から引き続き市内5ヶ所に設置し、年間延べ1,708人の保育を実施、運営補助を行なった。 また、施設の認可化移行について意向調査を実施し、希望があった施設のうち2園を平成26年4月認可化した。		
担当課 自己評価	4	年間延べ1,708人の保育を実施し、待機児童対策の一助となった。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	指導監査室とともに、施設に対し指導監査を実施し、良質な保育環境が確保されるように指導した。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	市内3ヶ所に設置し、引き続き運営補助を行う。 全園に対し、平成27年4月認可化に向け調整を行う。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	預かり保育事業(幼稚園)	掲載ページ	34
		担当課	保育運営課(児童育成課)
		No.	10
事業内容	保育園待機児童の解消と、幼稚園を利用する保護者のニーズに対応するため、私立幼稚園が教育時間以外に園児を預かる、預かり保育事業の支援を行います。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2)保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	(10)	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	幼稚園による預かり保育(3歳以上)の拡充	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	11園	15園	長期休暇期間中の 実施園数
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成25年度は10園に対して補助金を支給し、私立幼稚園の預かり保育事業を推進した。平成27年4月1日施行予定の子ども・子育て支援新制度において預かり保育事業は、地域子ども・子育て支援事業の一類型である「一時預かり事業(幼稚園型)」として取り扱われ、市からの委託事業となる予定である。そのため、この事業に対する補助制度の在り方について見直す必要がある。		
担当課 自己評価	3	目標値に及ばなかった。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	有	補助導入にあたって、各園にアンケート調査を行い、幼稚園協会との調整を行った上で制度設計を行った。	
関係部署との連携	有	今後は待機児童の人数を把握しながら、包括的に待機児童対策をどのようにするのか、検討する余地がある。	
障害者・外国人等への配慮	無	障害者への対応は別の補助金によって実施している。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	平成25年第4回定例会において請願(幼児教育の振興と子育て支援について)が採択されたこと等により、平成26年度から私立幼稚園の預かり保育事業に対する補助制度を拡充した。保育園の待機児童解消及び子育て支援に資するため、私立幼稚園における預かり保育事業の実施園数の増加や預かり時間の延長を目指す。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容	平成27年4月1日施行予定の子ども・子育て支援新制度において預かり保育事業は、地域子ども・子育て支援事業の一類型である「一時預かり事業(幼稚園型)」として取り扱われ、市からの委託事業となる予定である。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	一時保育の充実	掲載ページ	33
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	11
事業内容	保護者の就労や就学、疾病及び私的な理由等により保育園で一時的に児童を保育する一時保育のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	保育園の増設(民間保育園の開所・運営支援)	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
10か所	12か所	21か所	毎年1園程度設置
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	認可保育所合計16園で実施。 年間利用数延べ18,589人。		
担当課 自己評価	4	利用者数は伸びなかったものの、実施園を1箇所増やし利用者の利便性を高めることができた。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・引続き16園で実施。 ・環境が整い次第新規園においても実施を目指す。 ・リフレッシュ利用を対象とする施設を公立園に4園増設する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	休日保育事業	掲載ページ	33
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	12
事業内容	日曜日、国民の祝日等に、保育所において保育を提供する休日保育のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
6か所	2か所	4か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	私立保育園2園で実施。年間利用者数延べ294人。 昨年より利用が増加した。		
担当課 自己評価	4	ニーズに対応し、前年より利用者数が増加した。	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	—		
障害者・外国人等への配慮	有		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	引き続き、私立保育園2園で実施。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	乳幼児健康支援一時預かり(病児・病後児保育)	掲載ページ	33
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	13
事業内容	民間施設の利用などにより病気及び病気回復期の児童を保育する病児・病後児保育施設を整備し、病後児保育等のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
1か所	1か所	2か所	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	利用者数は161名(平成24年度比▲66名)と減少。利用には事前登録が前提となるが、新規登録者数は96名と前年比同数であり、少しずつではあるが、事業の周知は進んでいると思われる。 当事業の課題のひとつとしている委託費の見直し(積算方法の見直し)については、児童の安全性や事業に求められる専門性などを考慮しながら継続する。		
担当課 自己評価	2	委託費の見直しには至らなかった。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	全保育園へ保護者への周知のため、パンフレットを配布。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	- 引き続き、委託費の見直しを検討。 - 病後児保育の新たな担い手の検討。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	ファミリー・サポート・センター事業	掲載ページ	24
		担当課	子育て支援課(児童育成課)
		No.	14
事業内容	育児の援助を行いたい方(協力会員)と育児の援助を受けたい方(利用会員)で構成する会員組織で、会員相互による育児の援助活動を進めます。 今後、協力会員を増やすことが課題となっているため、啓発活動等を充実します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐむ支援	
	中番号	ウ 地域の子育て力の向上	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	国の動きを踏まえた多様な保育サービスの検討	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	238人	拡大	育児の担い手となる協力会員数の増加を目指す
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成26年3月31日現在、全体会員数は1,214人で昨年度から51人増加した。協力会員数は両方会員も含め257人であり、昨年度から7人の増となった。 利用会員数及び利用件数は増加してきているが、協力会員数はほぼ横ばい傾向にあり、地区毎の協力会員数の偏り解消が課題。		
担当課 自己評価	3	イベントでのチラシ配布や商業施設での絵本読み聞かせなどの広報活動の他、定年退職する市職員へ会員募集チラシを配布した。	
市民との協働	有	協力会員の協力がなければなしえない事業である。今後とも、協力会員の意見を聞きながら事業を進めていきたい。	
市民アンケート・意見の聴取	有	協力会員の地区リーダー会議などで、本事業について意見をいただき、事業のあり方などを検討している。	
関係部署との連携	有	アドバイザーが援助活動の中で、気がついたことを児童育成課を通じて適宜情報提供を行っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	研修や交流会を通じて、配慮を行っている。また、小学校6年生までを対象を改め、小学生は全学年に対応できるものとした。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	広報媒体(ホームページ・チラシ・ポスターなど)の見直しを行い、仕事と育児の両立支援だけでなく、リフレッシュなどの一時預かりも可能な点をアピールするとともに、利用者の声を活用しながら広報活動を強化し会員数増加を図る。 また、商業施設などで読み聞かせやイベントを開催し、自宅で育児をしている方の育児不安や負担軽減へつなげる。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容	子ども・子育て支援新制度の地域子育て支援事業に含まれており、一時預かり、病後児保育を含めた更なる事業の強化が求められる。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	保育施設の指導監査	掲載ページ	35
		担当課	法人指導課(指導監査室)
		No.	15
事業内容	市内の認可保育園・認可外保育施設を対象に、毎年、安全管理・事故防止等について、適正な運営がなされているか調査し、必要があれば指導を行います。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑭	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	毎年実施することで、質的向上を図る
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	私立保育園21施設の指導監査は、指摘事項の総数は、93件で、内訳は文書指摘(C指摘)が31件、口頭指摘(B指摘)が62件となった。指摘事項の具体的な内容は、保育士の配置不足や職員の定期健康診断の受診状況が不十分など、人事管理に関するもののほか、家具の転倒防止対策等の園児の安全確保に関する指摘を行った。認可外保育施設に対する立入調査結果は、対象の21施設中、指摘事項の総数は、24件で、内訳は文書指摘(C指摘)が12件、口頭指摘(B指摘)が12件となった。課題は、通常の指導監査以外に、継続的な指導の必要な施設があり、経営主体の選定から、施設の認可、指導監査まで、担当課と密に連携した対応が求められる。		
担当課 自己評価	3	新設の施設は初回の調査の結果、指導事項が多くなる傾向があるため、新規施設が多いと平均の指導事項数も多くなる。施設設立の早い段階から、必要な指導を行う必要性があること。	
市民との協働	—	指導監査業務は市民との協働を行う必要がないため	
市民アンケート・意見の聴取	—	指導監査業務の性質上、対象が市民ではなく、認可保育所を運営する事業者なので、アンケート等は聴取していない。	
関係部署との連携	有	保育課とともに調査を実施している。	
障害者・外国人等への配慮	—	業務の対象に直接関係していない。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	認可保育園に対する指導監査は7園増加の28園に対し次の重点事項を中心に行う。①適正な保育従事者の配置、②保育園の財源である運営費の適正な運用。 認可外保育施設に対する立入調査は、平成26年度から保育運営課へ事務移管。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	保育施設の指導監査	掲載ページ	35
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	15
事業内容	市内の認可保育園・認可外保育施設を対象に、毎年、安全管理・事故防止等について、適正な運営がなされているか指導監査を実施します。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑭	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	認可外保育園の質の向上(監査業務の実施(中核市業務))	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	毎年実施することで、質的向上を図る
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・市内に設置されている認可保育園・認可外施設(事業所内保育所を除く)を対象に、指導監査室とともに監査を実施した。 ・監査で指摘事項があった場合は改善を求め、改善されたことを確認した。 ・基準を満たした認可外施設に対し、認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書を交付した。		
担当課 自己評価	4	施設の特性と個々の事情に配慮した指導ができた	
市民との協働	—	事業の性質上、協働を行う必要はない	
市民アンケート・意見の聴取	—	事業の性質上、意見の聴取を行う必要はない	
関係部署との連携	有	指導監査室とともに監査を実施	
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・市内に設置されている認可保育園・認可外施設(事業所内保育所を除く)を対象に、法人指導課とともに監査を実施する。 ・基準を満たした認可外施設に対し、認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書を交付する。 ・指導監査体制を強化し、きめ細やかな指導を目指す。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)	掲載ページ	33
		担当課	こども福祉課(児童育成課)
		No.	16
事業内容	児童を養育している保護者が疾病等の理由により、家庭での養育が困難になった場合に、児童養護施設等で一時的に養育する子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)のニーズに対応していきます。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	ア 就学前児童の保育サービスの充実	
	小番号	⑤	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	国の動きを踏まえた多様な保育サービスの検討	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
1か所	1か所	2か所	2か所
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	家庭で育児を行っている親の中には、ひとりで育児を続けていることにより、育児疲れ、育児不安、育児ノイローゼに陥る親も多くなっており、このような人にも利用を促すため、本事業の周知を図り、必要とする人が利用できるようにする。		
担当課 自己評価	4	- 虐待の未然防止につながる育児負担の軽減に役立っている。 - 利用申込時に面接を行うなどして、保護者への相談支援につなげている。 - 利用人数が増加しているのと同時に、一人当たりの利用日数が増えている。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	保育園等を通じての周知。	
障害者・外国人等への配慮	有	外国人利用可(但し住所要件)。障害児も極力受け入れる方針。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	松戸市にある晴香園へ委託し事業を実施。育児ストレス等を理由とした利用申込みも積極的に受け入れており、利用実績も年々増加している。今後の利用者数増加を見据え、委託先の確保が課題となる。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こどもルーム(学童保育)の全小学校区整備	掲載ページ	35
		担当課	学童保育課(こどもルーム担当室)
		No.	17
事業内容	市内全小学校区に計画的に整備し、放課後児童の健全育成と保護者への支援を図ります。		
計画系統	基本目標	2 仕事と家庭を両立するために	
	大番号	(2) 保育サービスの充実	
	中番号	イ 就学児童の保育サービスの充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	2 保育環境の整備と待機児童の解消(P82・83)	
	取り組み	こどもルームの全小学校区への整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
39か所 —	37か所 2,100人	40か所 2,220人	28年度までに 全小学校区整備
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	【過密ルームの解消】 高田小こどもルームの過密化を解消するため、隣接の体育用具倉庫を改修して第二保育室を設置し、平成26年4月より開所した。 【新設ルームの設置】 富勢東小学校の余裕教室(デイサービス施設)を利用し、平成26年4月より富勢東小こどもルームを開所した。		
担当課 自己評価	4	42小学校中、40小学校区にこどもルームを設置した。	
市民との協働	—	市立施設であるため、専ら市が主体となって整備する。	
市民アンケート・意見の聴取	—	整備場所が全小学校区内と明確であるため、意見は聴取していない。	
関係部署との連携	有	教育委員会と整備の順位や校内位置等を協議している。	
障害者・外国人等への配慮	有	千葉県福祉のまちづくり条例に沿った整備(バリアフリー)を実施している。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	高柳小こどもルームの過密化を解消するため、第二保育室を設置。 田中北小学校校舎内を改修し、こどもルームを新設。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てワークショップの実施	掲載ページ	64
		担当課	子育て支援課(児童センター)
		No.	18
事業内容	保護者が様々な状況によって、育児に追い詰められる状況に陥らないようにするため、他者に相談したり、問題解決の糸口を見つけられるようになるためのワークショップを実施し、虐待の予防を図ります。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(1)子どもの権利を守るための環境整備	
	中番号		
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		子どもの権利擁護の充実と啓発の推進	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	参加者の声を反映しながら、事業充実を図る
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	子育ての情報交換をしたり、自分たちで遊びを考えたりして、親子で楽しみながら仲間づくりに繋がった。 ①幼児親子クラブで実施(年間30回、児童センター2ヶ所)、②1歳児ルンルンクラブで実施(8回シリーズ、児童センター5ヶ所、こどもルーム3ヶ所、近隣センター1ヶ所、計9ヶ所)、③0歳児ルンルンクラブで実施(前期8回シリーズ、児童センター7ヶ所、こどもルーム3ヶ所、近隣センター1ヶ所、計11ヶ所)、④0歳児ルンルンクラブで実施(後期6回シリーズ、児童センター3ヶ所、近隣センター1ヶ所、計4ヶ所)		
担当課 自己評価	4	少人数で、子育てについてテーマを決めて話し合うことで、子育ての不安解消や問題解決につながった。	
市民との協働	有	協力者(市民)が参加	
市民アンケート・意見の聴取	有	各ワークショップ終了後、意見聴取を実施	
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	有	希望があれば参加可能	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	①幼児親子クラブで実施(年間20回、児童センター、計2ヶ所) ②1歳児ルンルンクラブで実施(8回シリーズ、児童センター5ヶ所、こどもルーム2ヶ所、計7ヶ所) ③0歳児ルンルンクラブで実施(6回シリーズ、児童センター7ヶ所、こどもルーム3ヶ所、近隣センター1ヶ所、計11ヶ所) ④0歳児ルンルンクラブで実施(後期6回シリーズ、児童センター7ヶ所、こどもルーム3ヶ所、近隣センター1ヶ所、計11ヶ所) 予定		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	ひとり親等就業資格等取得助成	掲載ページ	67
		担当課	こども福祉課(児童育成課)
		No.	19
事業内容	母子・父子家庭の親及び養育者の就業の促進及び自立を図り, その家庭の生活の安定に資することを目的に, ひとり親等就業資格等助成金を交付します。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(2)ひとり親家庭等の子育て支援	
	中番号		
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	拡充	資格助成・就職支援を通じて, 母親の就業率上昇を目指す
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	4件の助成申請に対し, 計362, 000円の資格取得助成を行った。 助成した資格は次のとおり。 ホームヘルパー2級: 2件 介護職員初任者研修: 1件 言語聴覚士 : 1件		
担当課 自己評価	4	例年実施している助成対象者に対するアンケート調査の結果, 社員への昇格, 無職者及び転職希望者の就職実現など一定の成果を得ている。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	有	例年資格助成対象者に対し, 事後調査(意向調査)アンケートを実施している。要望などあった場合には協議を行い, 必要資格項目及び不要資格項目の加除などを検討している。	
関係部署との連携	無		
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	平成25年8月1日付で類似事業である自立支援教育訓練給付金事業に統合された。平成29年3月31日までの経過措置あり。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	母子家庭自立支援プログラム策定事業	掲載ページ	67
		担当課	こども福祉課(児童育成課)
		No.	20
事業内容	母子家庭の自立を促進するため、きめ細やかで継続的な自立・就業支援を実施することを目的として、個々の状況やニーズに応じた自立支援プログラムを策定し、就職活動(履歴書・面接等)の指導やハローワークと連携した就業支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(2)ひとり親家庭等の子育て支援	
	中番号		
	小番号	④	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	資格助成・就職支援を通じて、母親の就業率上昇を目指す
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	母子家庭の自立を促進するため、個別に面談を実施のうえ、個々の状況やニーズに応じた自立支援プログラムを策定した。 平成25年度は計14件のプログラムを策定。内7件が就労に繋がった。		
担当課 自己評価	4	同事業でハローワークへ引き継いだ後の個別追跡調査により、高い就職率が期待できることから一定以上の成果が得られていると考えられる。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	就業支援についてハローワークとの連携が不可欠な状況。	
障害者・外国人等への配慮	無		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	母子家庭の自立を促進するため、きめ細やかで継続的な自立・就業支援を実施することが効果的であることから、今年度も継続して実施していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こども発達センターの開設	掲載ページ	17
		担当課	こども発達センター
		No.	21
事業内容	平成22年4月に開所する総合保健医療福祉施設に、子どもの療育や発達支援に特化した機能を集積し、子どもの発育、発達に関する相談支援を総合的に行う「こども発達センター」を開設します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑪	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	こども発達センターによる総合的な療育支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・平成24年度からの継続利用児童746人,25年度からの新規利用児童419人,計1,165人 ・集団支援利用延人数:いちご(午前)2,179人,いちご(午後)1,853人,こりす212人,計4,244人 ・個別支援利用延人数:理学療法1,016人,作業療法525人,言語指導2,088人,心理指導1,602人,計5,231人 ・キッズルーム出席延人数:ひまわり11,091人,こすもす1,542人,計12,633人 ・保育所等訪問支援利用延人数:281人 ・障害児相談支援利用延人数:186人 【課題】 ・こども発達センターの利用希望者増加への対応 ・集団支援、個別支援等を適切な頻度で利用者に提供するための体制整備		
担当課 自己評価	5	利用者の増加に対し、こどもの状態に合わせた集団支援のグループの新設などで、受け入れの拡大と充実した支援に繋がった。	
市民との協働	有	キッズルームひまわり、こすもすでボランティアの協力を得ている。	
市民アンケート・意見の聴取	無	利用者からの意見聴取は、随時行っている。	
関係部署との連携	有	保健所・保育運営課・家庭児童相談室・教育研究所など随時連携をとりながら進めている。	
障害者・外国人等への配慮	—	事業そのものが障害児を対象としたもの	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	既存事業の拡大及び内容の充実を図る。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	のびのび相談(乳幼児専門相談)	掲載ページ	17
		担当課	地域健康づくり課
		No.	22
事業内容	未熟児は疾患や合併症を伴いやすく、保護者の負担と不安も大きいため、小児科医、保健師、保育士、臨床発達心理士など多職種のチームで発育・発達の確認や相談に応じます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	低出生体重児等を対象に、月1回相談を行っている。相談は、発育発達の確認とあわせ、個別支援相談を取り組んでいる。 従事者は小児科医・臨床発達心理士・管理栄養士・保健師・助産師でチームを組み、親子が安心して育児ができるように支援している。 対象者には個別通知を行い、未来所者には電話による来所勧奨と育児状況の確認を行っている。		
担当課 自己評価	5	他職種のチーム連携を基本として、発育発達の確認や支援を行っている。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	有	来所時に育児アンケートを行い、アンケート把握した育児不安や悩み等に対し、育児相談を行っている。	
関係部署との連携	有	必要時ケース連絡等を行っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	低出生体重児等を対象に5か月児健康診査として「のびのび相談」事業を継続して実施する。 よりよい支援体制ができるように他職種のチーム連携で行う。 対象者には個別通知案内と、電話による受診勧奨を行い、発育発達の確認、育児支援等を継続して取り組む。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	発達支援相談	掲載ページ	17
		担当課	地域健康づくり課
		No.	23
事業内容	発達面で気になる子どもの保護者が、気軽に相談できる専門的相談を実施しています。児童精神科医、臨床発達心理士、保健師等が相談に応じます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	⑧	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	発達面の不安を抱く保護者を児童相談精神医師等の専門医師による相談につなげ、不安解消に導けるようにする。 また、必要なかたには、他機関への紹介や関係機関と連携した支援方法の調整を図っている。 課題としては、児童相談精神医師の確保が困難なことである。		
担当課 自己評価	5	相談機能の充実、関係機関との調整をはかり、保護者や本人支援の対応を進めること。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	—		
関係部署との連携	有	こども発達センターや保育機関等とケースの相談等をしている。	
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	児童精神科医師と臨床発達心理士による個別相談を継続して行い、保護者の不安や心配を受け止め、専門多岐な立場での助言等を行う。 26年度は1回/月(計12回)の相談日を設定し、保育園や幼稚園等へ事業周知を強化し、充実を図る。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	発達(継続)相談	掲載ページ	17
		担当課	こども発達センター
		No.	24
事業内容	1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査後の育児不安や幼児の発育・発達などについて、直ちにセンターでの支援につながなくてもよい「グレーゾーン」の児童に対して、心理相談員が相談を実施している。(平成25年度より保健所地域健康づくり課からこども発達センターに事業を移管)		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(2)相談体制の充実と構築	
	中番号	ア 相談窓口の充実	
	小番号	(12)	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
		一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・相談予約は168件、そのうち相談を実施したのは、実人数110人に対し、延べ136回だった。 ・25年度は移管初年度ということで、実施方法等基本的には前所管課である「地域健康づくり課」のやり方を踏襲したが、26年度以降「こども発達センター」の事業としての「発達相談」の実施方法等について、検討、修正等を行う。		
担当課 自己評価	4	心理相談員の専門的な助言等により、センターの初回面接につながり支援開始に至ったケースは110人中35人(約32%)となった。	
市民との協働	—		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	保健所の保健師と、相談実施の前後に緊密な連携をとっている。	
障害者・外国人等への配慮	有	個々への対応にて行っている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・平成26年度についても、継続して事業を実施する。 ・保健師とは、引き続き緊密な連携を図り、支援の必要な児童を見落とすことのないように協力体制を強化していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	親子教室(かんがる一広場)	掲載ページ	39
		担当課	地域健康づくり課
		No.	25
事業内容	24年度において、「のびのび相談事業」として統廃合をしたため、詳細は「のびのび相談事業」参照のこと		
計画系統	基本目標	3 親子が健康に過ごすために	
	大番号	(1)親子の健康づくり支援	
	中番号	エ 親子がつどう場での支援	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	一人ひとりに配慮した個別相談事業の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	24年度において、「のびのび相談事業」として統廃合をしたため、詳細は「No.22 のびのび相談(乳幼児専門相談)」を参照。		
担当課 自己評価			
市民との協働			
市民アンケート・意見の聴取			
関係部署との連携			
障害者・外国人等への配慮			
4. 平成26年度の実施内容			
内容			
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要				
事業名	1歳6か月児健康診査事後指導 (ひよこルーム)		掲載ページ	71
			担当課	地域健康づくり課
			No.	26
事業内容	集団遊び(プレ教室)を通して、子どもの成長・発達を支援するとともに、保護者相互の相談・交流の場として充実を図っています。また、こども発達センター等の療育機関との連携を強化し、地域で安心して生活できるよう相談支援を推進しています。			
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように		
	大番号	(3)その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)		
	中番号	イ 療育等の充実		
	小番号	⑧		
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)		
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援		
		相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応		
2. 目標事業量				
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)		
前期目標	実績	数値目標等	備考	
—	実施	継続	乳幼児期から切れ目なく、丁寧な個別支援を充実させる	
3. 平成25年度の実績等				
実績・課題	1歳6か月児健康診査等で発達等の支援が必要なかたへ、集団遊びを通してかわり、集団支援と個別支援の両面からの育児支援・家族支援等の取り組みをしている。臨床発達心理士・保育士・保健師などの多職種による連携のもと、参加者のニーズに寄り添い、気軽に相談できる体制で実施している。集団支援と個別支援を組み合わせること、こども発達センターの早期療育につながるかたも多くなっている。			
担当課 自己評価	5	発達障害の早期支援を狙いとした事業でもあるため、個別アセスメントを強化し、事業の必要性を市の中の他の早期支援事業との兼ね合いを検討していく		
市民との協働	—	なし		
市民アンケート・意見の聴取	有	利用者の事業利用前後のアンケート実施		
関係部署との連携	有	こども発達センターの療育部門との連携を行っている。		
障害者・外国人等への配慮	有	対象児の兄弟がいる場合、兄弟での受け入れをすることで参加しやすい環境をつくっている。		
4. 平成26年度の実施内容				
内容	アンケートの結果は、この事業に参加することで保護者の障害に対する理解度や受容度が高く、家族支援の1つとして効果が表出していることがわかった。引き続き、意識的に親子遊びやかかわりの具体的な提案を個別支援と併せて行い、必要時療育機関等へつなげていく。			
5. 平成27年度以降の予定(任意)				
内容				

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域療育支援	掲載ページ	70
		担当課	こども発達センター
		No.	27
事業内容	障害児を受け入れている施設(保育園, 幼稚園等)に, 公開指導, 巡回支援を行います。また, 在宅の障害児及びその家族に対し, 家庭訪問による療育支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3) その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	イ 療育等の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	障害児を受け入れる保育園・幼稚園への公開指導・巡回相談の実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・保育園・幼稚園職員を対象にしたキッズルーム公開療育を5回実施 ・幼稚園を中心とした巡回支援は「柏市障害児等療育支援事業」の「施設支援」として, 当該事業を委託している市内の民間3事業所を中心に, 関係機関職員とチームを組んで実施した ・実施回数: 幼稚園20園に対し延べ53回, 保育園22園に対し延べ58回, こどもルームに対し延べ5回, 巡回従事職員対象の研修1回(8月実施) 【課題】 ・新設保育園の増加や, 事業の浸透による支援希望の増加への対応		
担当課 自己評価	5	官民協力体制の下, 巡回支援を実施できた。協力機関の一つとして専門職の参加を積極的に行い支援に繋げた。	
市民との協働	—	幼稚園巡回支援については, 民間事業所と協力して事業を実施している。	
市民アンケート・意見の聴取	—	事業の性質上, 行う必要がない。	
関係部署との連携	有	保育運営課, 障害福祉課と連携をとりながら各事業を実施。	
障害者・外国人等への配慮	有	事業そのものが障害児を対象としたもの	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・新設保育園の増加に伴い, 巡回支援を拡大する。 ・「保育所等訪問支援事業」の拡大を図る。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	地域療育支援	掲載ページ	70
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	27
事業内容	障害児を受け入れている施設(保育園、幼稚園等)に、公開指導、巡回相談を行います。また、在宅の障害児及びその家族に対し、家庭訪問による療育支援を行います。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3)その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	イ 療育等の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
		相談体制の充実などによる配慮が必要な子どもへの早期対応	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	障害児を受け入れる保育園・幼稚園への公開指導・巡回相談の実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・障害児を受け入れている保育園において、年3回の巡回相談を行った。 ・保育園等に入園している園児へ、集団適応のための保育所等訪問支援を実施した。 ・保健所、こども発達センターと、早期から療育につながるよう連携をとった。		
担当課 自己評価	5	認可保育園における障害児巡回指導では、その場のアドバイスのみではなく、その後も必要に応じて、他機関と連携をとりながらサポートした。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	地域健康づくり課及びこども発達センターと連携をとっている。	
障害者・外国人等への配慮	有	事業そのものが障害児を対象にしている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・保育所等訪問支援、施設への巡回相談を継続する。 ・関係機関と連携をとり、子どもの早期支援、保護者へのサポートを行う。 ・障害児の保育を行う保育士への研修を実施する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	日中一時支援事業	掲載ページ	72
		担当課	障害者相談支援室(障害福祉課)
		No.	28
事業内容	放課後や長期休暇中の活動場所が必要な障害児等に対し、親の就労支援や家族の一時的な休息を目的として、日中における見守り等の支援を行います。 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つとして、今後も事業の拡充に努めます。		
計画系統	基本目標	5 すべての子どもが自分らしく成長できるように	
	大番号	(3) その子らしく健やかに成長するための支援(障害児等支援の充実)	
	中番号	オ 施設サービス事業の充実	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	障害児等の一時預かりの実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	【実績】長期休暇を中心に多くの利用(延べ利用者数2593人)があり、支給決定者数が増えたことから全体の利用者数も増加している。 【課題】日中一時支援を行っていた事業者が新たに障害児通所支援事業所を立ち上げ、障害児通所支援事業として包括的にサービス提供を行うように利用形態が変遷してきていることから、今後は利用日数が減少傾向になるものと思われる。		
担当課 自己評価	4	全体の利用者数も増加しており、一定の効果があったものとして評価する。	
市民との協働	無	—	
市民アンケート・意見の聴取	無	—	
関係部署との連携	無	—	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者を対象にしたサービスである。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	継続して制度実施。ただし、障害児通所支援事業を利用できる場合には、当該サービスの利用を優先する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	日本語指導者派遣事業	掲載ページ	52
		担当課	指導課
		No.	29
事業内容	日本語を理解することが困難な児童生徒の学習を支援するため、在籍する市内の小中学校に、日本語指導の技術を有する者を派遣します。		
計画系統	基本目標	4 心身ともに健やかに成長し、学びを深めていくために	
	大番号	(2)確かな学力をはぐくむ教育	
	中番号	ウ 特別な支援を必要とする児童生徒の教育の充実	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	3 配慮が必要な児童・保護者への支援(P84・85)	
	取り組み	配慮が必要な子どもや親への関係機関が連携した総合的な支援	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	柏市バイリンガル教員の配置(英語, 中国語)
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	- 年間実績: 823回(JSL児童生徒の日本語と教科学習の支援会) 2389回(柏市学校派遣日本語支援の会) - 学校からの支援要請に100%対応することができた。また、中学校3年生の生徒に対しては、作文指導や面接指導を充実させ、該当生徒全員が高等学校へ進学した。		
担当課 自己評価	5	学校からの要請に100%対応することができたが、予想以上の要請数であった。	
市民との協働	有	JSL児童生徒の日本語と教科学習の支援会と協働事業の協定を締結している。	
市民アンケート・意見の聴取	無	特に実施してはいない。	
関係部署との連携	有	指導課を通じて、協働推進課発行の文書を該当児童生徒に配布したり、国際交流協会会報を市内小中学校全62校に配布している。	
障害者・外国人等への配慮	有	日本語版と英語版の柏市就学ガイドスの活用。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	- 今年度は、「JSL児童生徒の日本語と教科学習の支援会」と「柏市学校派遣日本語支援の会」が統合し、ひとつの団体(「柏市帰国・外国人児童生徒日本語と学習支援の会」)として支援にあたる。 「柏市帰国・外国人児童生徒日本語と学習支援の会」と連携を密にし、該当児童生徒に応じた支援の充実を図る。 - 昨年度同様、学校からの要請に全て応じる。支援が校外で行われることがあるので、児童生徒の気になる様子等を知った際は、在籍校への報告がスムーズに行われるよう、指導課からミーティングなどで依頼する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	スクールガード(登下校の安全対策)	掲載ページ	76
		担当課	学校企画室
		No.	30
事業内容	児童生徒の登下校の安全を確保するため、通学路上の電柱に「文」マークの設置を進めます。また、各学校が行う通学路点検の報告事項を踏まえ、関係機関と連携し、安全確保を図ります。通学時間帯の安全確保のためのPTAや地域住民等によるスクールガードの自主的な取り組みを支援します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	通学路など学校外の安全対策の推進	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	2,200人	拡充	地域の見守り活動を実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・通学路標示板(「文」マーク)の新設を5箇所、交換を177箇所実施した。 ・要望のあった小学校(32校)の通学路48箇所について、柏警察署、道路管理者等の関係機関と連携し、合同点検を実施した。点検結果を踏まえて、それぞれの関係機関において現在対策を行っている。 ・子どもを狙った犯罪を抑止するため、不審者事案が多発している地域において、当該学区の学校関係者、地域の防犯団体(町会等)、警察、教育委員会の関係者による「不審者対策連絡会議」を開催し情報を共有化することで、地域の「見守り力」を強化した。		
担当課 自己評価	4	不審者事案の多発している地域を、ピンポイントで対策できた。	
市民との協働	有	ボランティアによる見守り活動が行われている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	学校ごとに登下校の安全対策にあたり、PTAや地域住民等と意見交換しながら対応しており、それらの活動を支援している。	
関係部署との連携	有	防犯及び交通安全関係部署と、常に連携した活動を実施している。	
障害者・外国人等への配慮	有	通学路の段差解消を道路管理者に要請している。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	・柏市通学路交通安全対策推進会議により策定した「柏市通学路交通安全対策プログラム」にしたがって、通学路の危険箇所の点検や対策、児童生徒の安全指導などを実施する。あわせて、通学路標示板の新設、交換を実施する。 ・不審者事案への対策として、新入学児童に対する防犯教室を実施するとともに、必要に応じて「不審者対策連絡会議」を開催し、犯罪の抑止を図る。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	エンジョイ・パトロール(安全安心まちづくり推進事業)	掲載ページ	76
		担当課	防災安全課
		No.	31
事業内容	市民の防犯意識を高めるとともに、自主防犯活動の普及を図り、安全で安心なまちづくりを推進していきます。主な事業として実施しているエンジョイ・パトロール事業や市民安全パトロール支援車(通称:サボカー)事業などの充実を図ります。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	地域ぐるみの見守り体制の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	エンジョイ・パトロール 5,300人	エンジョイ・パトロール 拡充	地域の見守り活動を実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	エンジョイ・パトロール登録者情報の管理簿冊をシステム化した結果、登録者情報が整理され正確性を増した。登録者数は昨年度から約300人増加した。これは自主防犯活動に携わる市民が着実に増加し、なおかつ、その活動が継続されていると判断できる。平成14年には1万件を超えていた刑法犯認知件数においては昨年5,221件とピーク時から半減し、前年比では約50件の減少をみせている。子どもや町を地域の見守りあいでの犯罪から守り、犯罪者が近寄りにくい環境づくりに携わる防犯ボランティアという社会資源を、今後、システム等を活用し働きかけながら市と協働で安全で安心なまちづくりを進めていくことが課題である。		
担当課 自己評価	4	登録者数の増加。システム導入による効率化。	
市民との協働	有	事業の趣旨に賛同した市民による自主防犯パトロールである。	
市民アンケート・意見の聴取	無	アンケート等は実施していない。23年度まで登録者による情報交換会を実施していたが、業務の見直しを行っている。	
関係部署との連携	有	沼南支所総務課に、登録・退会・帽子の交換等の業務を依頼している。	
障害者・外国人等への配慮	無	特になし	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	前年に引き続き、登録者増加を目指す。 前年度に導入したシステムを活用方法を検討(アンケート、情報提供など)。 システムを運用し、必要に応じ改修し、利便性向上を図る。		
5. 平成27年度の以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	犯罪防止を考慮した公園の設計管理	掲載ページ	77
		担当課	公園管理課
		No.	32
事業内容	新設公園の設計段階で、犯罪防止の観点等から見通しに配慮した樹木や施設の配置を行います。また、既設公園の樹木を定期的に剪定するなど適正な管理を実施します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	ア 防犯等の安全対策	
	小番号	⑦	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	8公園を「都市公園移動円滑化基準」に基づき、新規に整備した。また、既設公園については、定期的な樹木剪定等を行い維持管理に努めている。課題としては、公園数の増加、樹木の成長等から今後更なる維持管理費の増加が見込まれる。		
担当課 自己評価	3	定期的な除草、清掃、剪定を実施し適正な維持管理に努めた。	
市民との協働	無	今後、維持管理の面で連携を図っていく可能性あり。	
市民アンケート・意見の聴取	無	利用者の意見をより多く聞く必要あり。	
関係部署との連携	無	維持管理のあり方について連携を図る。	
障害者・外国人等への配慮	有	「都市公園移動円滑化基準」に基づき高齢者、障害者等が利用する施設等について計画・整備を実施している。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	今後も「都市公園移動円滑化基準」等を基に整備を進めると共に、見通しに配慮した樹木及び施設整備を行う。また、既設公園についても従来どおり定期的な樹木剪定等を実施し、利用者の安全を確保し、適正な維持管理を実施していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	交通安全教室の実施	掲載ページ	77
		担当課	交通施設課
		No.	33
事業内容	幼児、児童、生徒が交通事故に遭わないよう、交通安全教室を実施します。 また、幼児・児童等の保護者への啓発も進めます。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(2)子ども等の安全の確保	
	中番号	イ 交通安全対策	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
		犯罪や交通事故などを未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	交通事故の減少を目指す
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	幼児、児童、生徒に対し交通安全教室を実施。児童の交通安全教室は、42校中41校で実施した。幼児については、対象幼稚園・保育園75園中48園で実施した。課題としては、交通事故防止には、家庭、保護者の関わりが大きい、特に幼児期は保護者からの指導が重要であるため、保護者への安全教室を拡充するとともに各園を通し保護者へ情報提供していきたい。		
担当課 自己評価	4	児童に対しては、98%の実施率だったが、幼児(幼稚園・保育園)は64%の実施率だった。	
市民との協働	有	小学生の登校・下校時の立哨指導等安全対策を市民ボランティア交通安全推進隊、PTA等が協力して実施。	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	学校企画室、保育課等関係課と連携し交通安全教室、啓発活動を実施。学校企画室から市内小中学校に、事故情報を一斉FAXした。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者については、要望に応じて安全教室実施。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	各対象に交通安全教室を実施。 1. 児童(小学生)5月から9月実施 2. 幼児(幼稚園・保育園)10月から3月実施 3. 保護者対象は通年実施 4. 障害者への交通安全教室は要望に応じ実施		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容	幼児、児童、生徒に対し交通安全教室を継続して実施していく。 今後は保育士や教諭など教育関係者に対する交通安全教室を実施するなど、より効果的な交通検討安全方法を検討していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	補導活動事業	掲載ページ	78
		担当課	少年補導センター
		No.	34
事業内容	少年補導センターの計画のもと、少年補導委員との協働により街頭パトロールを実施し、青少年の問題行動を防止します。パトロール等の効果を高めていくために、学校や警察等の関係機関との情報共有や連携を強化します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(3) 非行等の防止と有害環境対策の推進	
	中番号		
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	地域ぐるみの見守り体制の充実	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	学校・関係機関と連携し、パトロールを実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	【実績】 ①街頭補導：少年補導委員及び少年補導センター補導専門員が毎日柏駅周辺の街頭で補導を実施し、年間で725人に声かけを行った。(前年比185人減)②地区補導：少年補導委員が所属する地区内の補導を実施し、2月末時点で375人に声かけを行った。(前年同月末時点比209人減)③特別補導：学校警察連絡協議会が主催する夏季年末年始の特別補導に協力した。また、中学校の体育祭卒業式開催時に特別補導を実施した。 【課題】 街頭補導の実施体制の検討		
担当課 自己評価	5	前年度とほぼ同じ補導活動回数で声かけ人数が減少していることから、問題行動の防止効果はあると考える。	
市民との協働	有	柏市少年補導委員連絡協議会との連携	
市民アンケート・意見の聴取	無	特に無し	
関係部署との連携	有	学校企画室から、不審者情報の提供を受ける。 防災安全課と共同で一日補導キャンペーンを実施する。	
障害者・外国人等への配慮	無	特に無し	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	①街頭補導：怠学と喫煙を防止するため、少年補導委員と少年補導センター補導専門員で、水曜を除く平日に柏駅周辺の街頭を巡回する。また夜遊びを防止するため、少年補導委員と少年補導センター職員で、月4回薄暮と月3回夜間も巡回する。②地区補導：地域の青少年を見守るため、少年補導委員が所属する地区内を巡回する。また夜遊びを防止するため、夏祭り、体育祭、卒業式の時期は夜間も巡回する。③問題行動を防止するため、各校生徒指導主任と少年補導センター職員で、夏季と年末年始に柏駅周辺の街頭を巡回する。また指導課と少年補導センターの職員で、体育祭と卒業式の前夜と当日に各校を巡回する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容	街頭補導の実施体制を引き続き検討しながら、街頭補導・地区補導・特別補導を継続していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	情報収集活動(プロフや裏サイトのチェック活動)	掲載ページ	78
		担当課	少年補導センター
		No.	35
事業内容	最近問題となっている携帯電話やインターネットのプロフィールサイトや学校裏サイトのチェック活動(サイバーパトロール)を実施し、学校や関係機関との連携を強化します。また、講演会で保護者や学校、関係団体などへサイバーパトロールの協力を広めていきます。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(3) 非行等の防止と有害環境対策の推進	
	中番号		
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	犯罪や交通事故などを防ぐための環境整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	監視活動を通じて犯罪を未然に防ぐ
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	【実績】①サイバーパトロール:4件(前年比22件減)を学校や関係機関に情報提供(通報)した。②講演会:51回(前年比38回増)実施し、延べ10,000人(前年比8,007人増)が参加した。 【課題】ソーシャルネットサービスの状況変化に適応したサイバーパトロールのあり方		
担当課 自己評価	3	実績は減少しているが、ツイッター発信者自身が承認した者のみ参照出来るよう設定しているため、掲載内容が健全化したかの確認が出来ない。	
市民との協働	有	講演会での啓発を通じて、児童生徒・保護者・教員・一般市民等から、会員制サイトについても情報の収集を図る。	
市民アンケート・意見の聴取	有	少年補導センターが事務局を担う柏市学校警察連絡協議会で市内一部の児童生徒に生活実態調査を行っており、携帯電話やインターネットの利用・被害についても項目を設定している。	
関係部署との連携	有	千葉県県民生活課から、サイバーパトロールの月例報告を受ける。生涯学習課のまちづくり出前講座に掲載し、講演依頼を募集する。	
障害者・外国人等への配慮	無	特に無し	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	①サイバーパトロール:市立小中全校の名称が入った問題のあるツイッター等の有無を定期的に監視する。②講演会:講演依頼者の新しい要望や、携帯電話機器・サービスの状況変化を反映した講演内容に、随時更新していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容	実施体制を検討しながら、サイバーパトロールや講演会を継続していく。		

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てセミナー開催	掲載ページ	20
		担当課	地域支援課
		No.	36
事業内容	子どもの成長や親の子育ての悩みを解決し、自らが生きる力をはぐくむためのセミナーを実施します。子どもの年齢に応じた講座の実施など、参加者のニーズに対応した内容の講座を実施します。また、各地域にある子育てサロンや、児童センターとの連携による子育て支援事業を協働で推進していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(3)子育てについて学ぶ場の提供	
	中番号		
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動	
		家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	この事業は、平成22年度の事業仕分けにより、廃止になっている。		
担当課 自己評価			
市民との協働			
市民アンケート・意見の聴取			
関係部署との 連携			
障害者・外国人 等への配慮			
4. 平成26年度の実施内容			
内容			
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	母と子のつどい	掲載ページ	23
		担当課	地域健康づくり課
		No.	36
事業内容	妊婦から1歳6か月頃までの乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の身体測定、育児相談のほか、栄養相談、歯科相談を行うとともに、地域でのつながりの場として、毎月市内19地域で実施します。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(4)地域ぐるみで子どもをはぐむ支援	
	中番号	ア 交流の場を通じた子育て支援	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	4 子どもの安全の確保(P86・87)	
	取り組み	未就学児からはじめる安全に関する啓発活動	
		家庭内の事故(特に幼児)を未然に防ぐための啓発活動の展開	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	子育て情報紙「まっふるぶる」や子育てハンドブック等で、当事業への周知や参加を呼びかけ、近隣センターを中心として、親子が地域で孤立しないように交流の場を設けている。交流の場であるが、育児相談や栄養相談、歯科相談など育児への助言や支援を同時に行っている。		
担当課 自己評価	4	19地域でテーマを決めて取り組み、効率的な情報提供を図ることができた。	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員との協働で実施している	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	児童育成課等と連携し、こそだて情報の1つとして活用を図った。	
障害者・外国人等への配慮	有	個別相談が行いやすいよう配慮する。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	基本的な内容は、26年度も継続して実施する。 参加者が多い会場(地域)では、安全な体制で運営ができるように職員等の配置を配慮する。 柏市民健康づくり推進員との連携を継続し、地域での情報提供等の周知を行う。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てに優しいまちづくりワークショップ	掲載ページ	74
		担当課	子育て支援課(児童育成課)
		No.	37
事業内容	子育て中の親などを対象に、「子育てしやすいまち」をテーマに、ワークショップを開催します。		
計画系統	基本目標	6 安全安心に生活するために	
	大番号	(1)子育てにやさしい生活環境の整備	
	中番号		
	小番号	⑥	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み		
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	①平成26年2月の「かしわっ子の未来フォーラム」において、子育て活動団体、子育て中の保護者、行政職員が参加し、テーマごとに分かれて、ワークショップを行った。 ②地域支援課とともに平成25年12月に「OYAJI☆INNOVATION」を実施。第2部のパパの井戸端会議において、子どもと父親の関わり方や地域活動に参加する意義などを討議した。 ③かしわ市民大学(こどもクラス)において、講義やフィールドワークを通じ、学生同士で議論を続け、その成果と今後の地域での活動アイデアを平成26年3月に研究発表会にて発表した。		
担当課 自己評価	4	市民活動団体、子育て中の保護者及び行政職員で活発に意見交換し、有意義なワークショップとなった。	
市民との協働	有	市民活動団体と協力し、実施	
市民アンケート・意見の聴取	有	各ワークショップ終了後、意見聴取を実施	
関係部署との連携	有	地域支援課、児童センター	
障害者・外国人等への配慮	有	希望があれば参加可能	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	昨年度実施した市民活動団体、子育て中の保護者、行政職員が参加できるワークショップが実施可能であるかを検討する。また、かしわ市民大学の卒業生とともに、研究発表にあった地域の子育てネットワークづくりについて、実践できるかどうかの確認を行う。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	庁内関係各課による計画の進行管理	掲載ページ	88
		担当課	子育て支援課(こども政策室)
		No.	38
事業内容	計画を実効性のあるものとして推進するため、計画で示した施策・事業について進捗状況を定期的(毎年)に把握し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)及びかしわ子どもネットワーク会議に報告します。また、市ホームページなどで公表し、市民にわかりやすく周知を図っていきます。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	庁内関係各課による計画の進行管理	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	進行状況を毎年ホームページにて公表
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	後期行動計画における目標事業量対象事業の平成24年度実績について進行管理票を作成し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)及びかしわ子どもネットワーク会議に報告するとともに、市ホームページにて公表した。		
担当課 自己評価	5	関係各課と連携し、適切な進行管理に努めた。	
市民との協働	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議等において計画の進捗状況を点検・評価していただいている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	対象事業の所管部署と連携して毎年度進行管理票を作成し、進捗状況を把握している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	後期行動計画における目標事業量対象事業の平成25年度実績について進行管理票を作成し、柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)に報告するとともに、市ホームページにて公表する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	審議会による計画の進行管理	掲載ページ	88
		担当課	子育て支援課(こども政策室)
		No.	39
事業内容	関係団体の代表者、公募市民、学識経験者等からなる柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)に施策の進捗状況を報告し、専門的な見地から点検・評価を受けます。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	審議会による計画の進行管理	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	意見をもとに、施策・事業の見直しを実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成25年10月4日(第1回)、平成26年1月28日(第2回)、同年2月10日(第3回)、同年3月20日(第4回)に柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)を開催した。 第1回は、後期行動計画の進行管理票(平成24年度分)について、専門的な見地から意見を聴取した。 なお、第2回から第4回にかけて、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う各種基準の整備について、意見を聴取した。		
担当課 自己評価	5	有益な意見を得ることができた。	
市民との協働	有	審議会(分科会)は市民からなる組織であり、十分な連携・協働を心がけている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)等を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	審議会(分科会)の開催にあたっては、関係部署の担当者も出席している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	平成25年度の実績について進行管理票を作成し、平成26年7月頃に開催する予定の柏市健康福祉審議会(児童健康福祉専門分科会)で意見を聴取する。 また、これ以外に、「柏市ひとり親家庭等自立促進計画」の策定に係る意見聴取、保育園及び幼保連携型認定こども園の認可に係る意見聴取についても、複数回開催する予定である。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	市民提案を受け止め支援する体制整備	掲載ページ	88
		担当課	子育て支援課(こども政策室)
		No.	40
事業内容	子育て支援団体の代表者、公募市民、学識経験者等からなるかしわ子どもネットワーク会議に施策の進捗状況を報告し点検・評価を受けるとともに、市民意向を反映した計画の推進方策についての検討を行います。		
計画系統	基本目標		
	大番号		
	中番号		
	小番号		
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	市民の意見を反映した計画の進行管理	
		市民提案を受け止め、支援する体制整備	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	—	新規	かしわ子どもネットワーク会議を中心に、市民提案を具体化
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成25年度のかしわ子どもネットワーク会議は、平成25年5月22日に開催した。子ども・子育て支援新制度の実施に向けた子育て支援当事者等の意見を聴取して、同年7月から設置した柏市子ども・子育て会議の議論につなげた。 なお、後期行動計画の進行管理については、会議終了後に個別に全委員の意見を聴取した。		
担当課 自己評価	3	1回のみの実施となってしまったが、有益な意見を得ることができた。	
市民との協働	有	ネットワーク会議は市民からなる組織であり、十分な連携・協働を心がけている。	
市民アンケート・意見の聴取	有	審議会(分科会)、ネットワーク会議を通じて市民意見を聴取している。	
関係部署との連携	有	ネットワーク会議の開催にあたっては、関係部署の担当者も出席している。	
障害者・外国人等への配慮	有	障害者や外国人など、配慮が必要な児童・保護者への支援も重点事業とし、総合的・継続的な支援に努めている。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	平成25年度に柏市子ども・子育て会議が設置されたため、かしわ子どもネットワーク会議は平成26年3月をもって廃止した。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育て情報誌(かしわこそだてハンドブック)による情報提供	掲載ページ	13
		担当課	子育て支援課(児童育成課)
		No.	41
事業内容	子育て情報を総合的に把握整理し、ハンドブック等の情報誌の発行により、広く情報を提供していきます。 また、外国人向けに4か国語(英語・中国語・スペイン語・ハングル)のダイジェスト版を作成し、情報提供を行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌(ハンドブック等)、 ホームページ(はぐはぐ柏 等)の充実
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	平成24年度と同様に民間企業との協働で費用をかけずに20,000部を発行した。平成25年度版は従来の情報量を維持しつつ、持ち運びやすいA5判とした。また、外国語版については英語、スペイン語、中国語、韓国語の4ヶ国版の発行も併せて行った。さらに電子書籍版も新たに公開し、PCやスマートフォンのアプリで閲覧できる環境を整えた。		
担当課 自己評価	4	平成24年度同様に、民間企業との協働でコストをかけずに発行できた。	
市民との協働	有	表紙や配布促進用POPのデザインを市民団体に依頼し、協働でPRを行っている。また子育てサイト「はぐはぐ柏」にHTML版ハンドブックの掲載を協働で行った。	
市民アンケート・意見の聴取	有	平成22年度より、柏市子育てサイト「はぐはぐ柏」にて意見募集を開始	
関係部署との連携	有	子ども関係部署に、子育て情報を収集	
障害者・外国人等への配慮	有	外国語版(英語・中国語・スペイン語・ハングル)を作成。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	平成26年度版も、情報を更新し、発行する。引き続き、外国語版の発行も継続して行っていく。子育てイベント等での配布や民間企業への配架協力を仰ぐなど、市民への周知に力を入れていく。また情報掲載の仕方について、子育てサイト「はぐはぐ柏」との連携を検討していく。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	「マップルプル」等の発行	掲載ページ	13
		担当課	地域健康づくり課
		No.	41
事業内容	身近で手軽な情報紙として、北部・中央・南部の3地域ごとの子育てサービスを掲載する「マップルプル」をはじめ、母子保健情報紙の内容の充実を図りながら、引き続き発行していきます。また、母と子のつどい、子育てサロンなど、子育て世代が集う様々な機会での配布や近隣センターへの掲示などにより、情報を広めていきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	②	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌の充実
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	各近隣センター等市内関係機関や母子保健事業等において配布を行った。また、柏市のホームページへの掲載を行い、インターネットでも簡単に見られる工夫に取り組んでいる。		
担当課 自己評価	4	わかりやすい内容やレイアウトを工夫して、関係機関等への周知と併せて取り組んだ。	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員の地域活動において配布・周知している。	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	子育て支援関係機関などへ情報の掲載と周知の協力依頼をしている。	
障害者・外国人等への配慮	無	現在は、日本語のみでの発行である。聴覚障害のある方も利用できるよう問合せ先にFAX番号を掲載。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	25年度に引き続き作成し、発行・配布する。また、子育て情報の追加更新が必要な場合は、随時改訂版として作成し、新たな内容で配布する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	子育てサポートかしわの発行	掲載ページ	13
		担当課	保育運営課(保育課)
		No.	41
事業内容	保育園で行う育児講座や園庭開放の予定のほか、子育てのポイントや遊びなど子育てに役立つ情報を掲載する「子育てサポートかしわ」の内容の充実を図るとともに、より多くの家庭に届くように配布方法・情報提供方法を工夫していきます。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ア 情報誌等を通じた情報提供	
	小番号	③	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	情報誌の充実
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	・年3回(5,9,12月)の通常版に加え、保存版を発行した。保存版には、各市立保育園の園庭開放日を地図と併せて掲載し、利用者にとって見やすいよう工夫した。 ・情報誌の内容を子育て支援サイト「はぐはぐ柏」にて閲覧できるようにした。		
担当課 自己評価	4	公立保育園23園で行われる子育て支援事業や子育てノウハウを掲載し、内容の充実を図った。また、配布場所は、子育て親子が収集されやすい場を選び配布した。	
市民との協働	無		
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	保育園嘱託医、近隣センター、出張所、児童センター、地域健康づくり課、沼南公民館、子育て支援センターに設置、提供を依頼している。	
障害者・外国人等への配慮	—		
4. 平成26年度の実施内容			
内容	情報誌の内容を柏市ホームページや支援サイト「はぐはぐ柏」等、インターネットを通じてより詳細な内容が閲覧できるようにする。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	柏市子育てサイトによる情報提供	掲載ページ	13
		担当課	子育て支援課(児童育成課)
		No.	41
事業内容	市とNPO法人の協働による柏市子育てサイト「はぐはぐ柏」の充実を図ります。子育て中の親はもちろん、インターネットを利用するすべての市民が子育てに関心を持てるように、より一層役立ち、楽しめるサイトを目指します。そのために、幅広く情報を収集し、常に最新の情報を提供できるよう、メンテナンスを実施するとともに、かしわシティネットや参画eyeなど、他市のサイトとの連携を図ります。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	イ インターネットを通じた情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	ホームページの充実
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	総PV数は平成25年度実績で736,456(前年度比131%)であり、順調に周知されつつあると言える。 イベント情報を対象年齢などの条件キーで絞り込み検索できるようにイベントカレンダーのリニューアルを行った。 サイトへのニーズなどが随時収集できるようアンケートフォームを作成し、トップページにアップした。 平成26年度の課題としてスマートフォン画面への対応、電子地図を活用した施設マップの搭載など、より利用しやすいサイトにするための再構築を行う。		
担当課 自己評価	4	イベントや民間施設等でPRを行った結果、PV数が増加した。	
市民との協働	有	NPO団体と協働で運営している。	
市民アンケート・意見の聴取	有	HP上にアンケートフォームはあるが、具体的な意見はあまりない。	
関係部署との連携	有	子育てに関わる部署と連携を図っている。	
障害者・外国人等への配慮	有	Webアクセシビリティ向上に取り組み、読み上げソフトへの配慮をするなどし、障害者への配慮を行っている。かしわこそだてハンドブックの外国版を掲載している。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	スマートフォン画面对応を初めとしたサイトの再構築(11月公開予定)		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			

柏市次世代育成支援後期行動計画 進行管理票

1. 事業概要			
事業名	こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	掲載ページ	14
		担当課	地域健康づくり課
		No.	41
事業内容	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭に対し訪問を行います。目的は、乳児家庭の孤立を防ぎ、子育て支援事業を紹介し、交流の場につなげていきます。また、様々な不安や悩みを聞き、母子の心身の状況を把握し、必要な家庭へ家庭訪問指導を始め、適切な支援援助提供を行います。		
計画系統	基本目標	1 地域ぐるみで子どもを育てていくために	
	大番号	(1)子育ての情報提供	
	中番号	ウ 訪問による情報提供	
	小番号	①	
重点プロジェクト	番号	5 市民との協働による計画推進と情報提供(P88・89)	
	取り組み	次世代育成支援に関するわかりやすい情報提供	
2. 目標事業量			
平成21年度 (前期計画最終年度)		平成26年度 (後期計画最終年度)	
前期目標	実績	数値目標等	備考
—	実施	継続	子育て支援事業等で実施
3. 平成25年度の実績等			
実績・課題	保健師・看護師・柏市民健康づくり推進員等による家庭訪問を行い、子育て支援事業として実施している。 面談できなかった場合などは、後日、電話等による再訪問の約束や情報提供に努め、対応している。 訪問後には、支援の必要性などをアセスメントし、保健師等による支援が必要な家庭を早期発見・支援へつなげる事を行っている。		
担当課 自己評価	4	家庭訪問や電話等による情報提供や支援に取り組んでいるが、全数面談までできていない(24年度77%)。	
市民との協働	有	柏市民健康づくり推進員と協働している	
市民アンケート・意見の聴取	無		
関係部署との連携	有	・子育てハンドブックに事業内容掲載 ・広報かしわにて、訪問予定生まれ月の掲載(毎月)による周知	
障害者・外国人等への配慮	有	必要に応じ、保健師が個別支援を行う。	
4. 平成26年度の実施内容			
内容	地域支援として、柏市民健康づくり推進員との協働による事業として継続して実施する。 全数面談率の増加や、早期対応を充実するように健康づくり推進員との連携体制を強化する。		
5. 平成27年度以降の予定(任意)			
内容			